

## 議案第1号

# 天橋立を世界遺産にする会 平成23年度事業報告

### (1) 天橋立世界遺産登録PR事業

#### ○天橋立世界遺産シンポジウムの開催

##### ※行政機関との共催事業

天橋立の国際的な価値や、世界遺産を巡る状況等を多くの方に知っていただくため、専門家を招いたシンポジウムを開催した。

#### 天橋立世界遺産シンポジウム～天橋立の国際的な価値について～

主催	天橋立を世界遺産にする会 京都府 宮津市 伊根町 与謝野町	
日時・場所	平成23年8月3日 みやづ歴史の館 文化ホール	
参加者	約100名	
内容	報告	「世界遺産を巡る国際的な動きについて」 京都府文化環境部文化芸術室 森 繁樹氏
	基調講演	「文化景観の保護～日本とベトナムを比べて～」 越日研究交流センター長 ホ・ファン・ホア氏
	パネルディスカッション	コーディネーター 国際日本文化研究センター教授 白幡洋三郎氏 パネリスト 越日研究交流センター長 ホ・ファン・ホア氏 釜山大学校人文大学教授 魯 成煥氏 京都大学大学院准教授 深町加津枝氏
ベトナムからホ・ファン・ホア氏、韓国から魯 成煥氏を招いて開催した当シンポジウムでは、アジア諸国からの視点を通して、天橋立の国際的な価値や、世界遺産登録に向けた課題などについてディスカッションが行われた。また、天橋立は地域の人々の主体的な関わりがその文化的な価値を高めてきたこと、そういった価値観を世界にどのようにPRするかについても議論いただいた。		

#### 天橋立世界遺産シンポジウム～天橋立の顕著な普遍的価値について～

主催	天橋立を世界遺産にする会 京都府 宮津市 伊根町 与謝野町	
日時・場所	平成24年3月25日 みやづ歴史の館 大会議室	
参加者	約80名	
内容	基調講演	「国内候補地の普遍的価値証明の取組状況について」 東京大学副学長・教授、日本イコモス国内委員会委員長 西村幸夫氏
	パネルディスカッション	座長 京都府立大学准教授 宗田好史氏 パネリスト 東京大学副学長・教授 西村幸夫氏 花園大学教授 福島恒徳氏
今回のシンポジウムでは、天橋立の国際的な視点からの評価を確立するために、顕著な普遍的価値(OUV)をどのように明らかにし、暫定一覧表記載を目指すかという点について、東京大学副学長・日本イコモス国内委員会委員長の西村幸夫氏を迎え、国内他地区とのOUV比較検討について講演、ディスカッションを実施した。		

## ○ペロタクシー背面PR広告の作成

天橋立の世界遺産登録に向けた気運を高めるため、宮津市街を走るペロタクシー（自転車タクシー）の背面にPR広告の設置を行った。天橋立の写真とともに、平成22年度に世界遺産登録推進運動「LOVERS Project 2010」で作成したシンボルマーク等を使用させていただいた。



## ○その他の活動

- ・世界遺産登録に向けた活動について勉強会等への講師派遣  
H23.11 京都北都信用金庫本店様
- ・ホームページによるPR活動等

## (2) 他団体との連携

### ○天橋立世界遺産登録推進運動「宝探しアドベンチャー天橋立」

#### ※社団法人宮津青年会議所との共催事業

1市2町の小学生と保護者の方を対象に、地域の宝である「天橋立」をより身近に感じることができるよう、天橋立について学ぶほか、手形による天橋立の絵を制作した。

制作した絵については、丹後海陸交通株式会社様のご協力により、路線バス側面にラッピング加工をしていただいた。(H23.12月～H24.12月まで宮津・与謝エリアを1年間運行予定)

- ・日時 平成23年10月30日
- ・場所 天橋立周辺一帯
- ・参加 宮津市・与謝野町・伊根町の小学生及び保護者 約150名



### ○クリーンはしだて1人1坪大作戦等への参画

#### ※天橋立を守る会との連携事業

クリーンはしだて1人1坪大作戦実行委員会（事務局：天橋立を守る会）が開催する天橋立の松並木の清掃活動に参加し、地元住民、団体、行政などが協働して天橋立の環境美化に努めた。

#### \*第36回 クリーンはしだて1人1坪大作戦

- ・平成23年4月3日
- ・約1,800名の参加（約4.5トンのごみを回収）

#### \*クリーンはしだて1人1坪大作戦 第5回迎春天橋立一斉清掃

- ・平成23年12月11日
- ・約1,000名の参加（約13トンのごみを回収）

## ※参考：行政の取組状況

**○「天橋立世界遺産登録可能性検討委員会」の運営**

- ・学識者WGの開催（3回） 提案コンセプトの検討、調査項目の調整等

**○調査研究事業**

- ・天橋立の世界遺産価値の証明について調査研究を実施した

**○登録推進DVDの作成**

- ・秋冬コンテンツの収集、構成の検討

**○国際シンポジウムの開催**

（詳細は上記参照）